



そらぷちキッズキャンプ。

solaputi kids' camp



ファミリーキャンプ 2018.9 ツリーハウスにて
(栃木レスパイトケア施設「うりずん」の利用家族を招待)

難病とたたかう子どものための
医療ケア付キャンプ場

in 北海道滝川市丸加高原

「外で遊びたい」——それが夢だと言う子どもたちがいます。

日本には、小児がんや心臓病など、難病とたたかう子どもたちが、約20万人いると言われています。そんな子どもたちは、辛く長い闘病生活の中で「外で遊ぶ」という機会がほとんどありません。

「外で遊びたい」——それが夢だと言う子どもたちがいるのです。

そして闘病中の子どもをサポートする家族にも「休息」や「リフレッシュ」が必要となっています。



小児病棟の病室

難病とたたかう子どもたちが自分の病気や治療のことを気にせず遊べるよう、特別に配慮された医療ケア付自然体験施設をつくりたい！

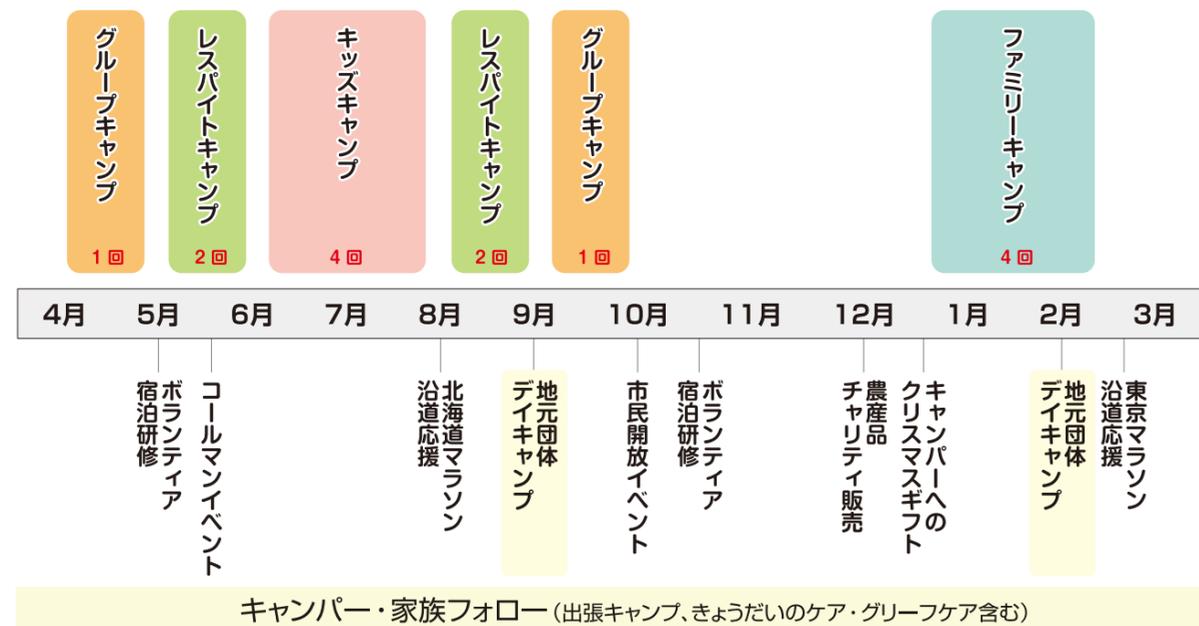


北海道滝川市丸加高原

そらぷちキッズキャンプは、難病とたたかう子どもたちや家族を受け入れることができる、医療ケア付キャンプ場を、北海道の大自然の中につくりました。

このような施設は、国内にはなく、すべて寄付やボランティアの力で運営しています。非日常体験であるキャンプに参加することが、闘病中の子どもや家族の「休息」になり、「明日を生きるエネルギー」になることを望んでいます。

キャンプ等実施計画（中期目標）



こんなキャンプをしています！

キッズキャンプ(子どものみ参加)

- ・対象年齢：10～18歳（小学校高学年から高校生）
- ・人数：20名程度・期間：3泊4日
- ・特徴：親元から離れ、同じ病気の仲間と集団生活し、自信をつける。（見送る親は、リフレッシュ、きょうだいは、親との時間を持つ機会）
- ・実施時期：7月、8月（夏休みの期間）
- ・サポートスタッフ、ボランティア40名程度



ファミリーキャンプ(家族単位参加)

- ・人数：8家族24名程度・期間：3泊4日
- ・特徴：家族での旅行、キャンプの機会。同じ病気の子どもを持つ家族が交流し、孤独感を和らげる。仲間意識をつくる。
- ・実施時期：1月、2月（冬・雪のシーズン）
- ・サポートスタッフ、ボランティア20名程度



レスパイトキャンプ(個別家族参加)

- ・人数：2家族10名程度（同行医療者含む）・期間：3泊4日程度
- ・特徴：医療ケア度の高い子どもと家族が対象。日常の緊張感から解放された中で、家族が同じ時間・思い出をつくる。
- ・実施時期：6月、9月（過ごしやすい気温の時期）
- ・サポートスタッフ、ボランティア20名程度



グループキャンプ(団体参加)

- ・対象団体：難病の子どもの家族会、支援団体・期間：3泊4日程度
- ・人数：8家族24名程度＋同行者10名程度
- ・特徴：家族会・団体内の交流
- ・実施時期：5月、10月（夏季シーズン前後）
- ・サポートスタッフ、ボランティア20名程度



今後の展開について

これら以外にキャンプ場の特性を活かして、きょうだいや親のサポート、子どもを亡くした家族をサポートする取り組みも行っていきたいと考えています。

対象者について

そらぷちキッズキャンプは、「難病などの病気とたたかう子どもと家族」を対象とし、病種は限定せず、より医療ケア度の高い子ども、よりキャンプへのニーズが高い子どもを優先し、招待します。参加には専門の医療体制（専門の医師、看護師等の参画）の構築が不可欠となります。その体制が整った段階で新たな病種を対象にしたキャンプをスタートさせます。

これまでの参加者（参加者数、居住地、病種、感想など）

小児がん（白血病、脳腫瘍など）とたたかう子どもや、小児外科系疾患（二分脊椎症、短腸症候群など）をもつ子ども、その他、心疾患（心臓病）、神経・筋疾患などをもつ子どもたちが、キャンプに参加しています。

これまで2005～2018年度の14年間で、全国から1017名の難病とたたかう子どもと、その家族を無料で招待することができました。

参加者の感想



キャンプ中の子どもの様子。現在はボランティアで活躍中。

子どもの感想

病気でも、キャンプに行けてみんなと遊べて楽しいこともあるんだ。

こんなに楽しいことがあったら、この先変わるんじゃないかなと思う。

家に帰っても、一週間くらいキャンプのことがしゃべらなかつた。もったいない気がして。

再発して、再入院して、いやだったけど、またそらぷち行けるのかなあ。

一人じゃないんだ仲間がいるんだと初めて感じる事ができた。

親の感想

親子ともども、あきらめていたことが出来て、自信になった。これからは、出来ることをどんどんさせたいと思った。

病児、きょうだい、両親、一緒に楽しめたので、家族同士のいろいろな表情を発見できた。あらためて「家族一緒」が一番楽しいと感じた。

普段の生活に制限がある中で大自然で過ごしたキャンプは羽ばたいたような気持ちだった。

私たち家族にとってこのキャンプ地は、新しい生活のスタートになった。

空港にてサポート頂いた航空会社スタッフの方々と記念撮影



キャンプ参加者の居住地

（2005年～2018年度）



キャンパーの居住地

全国からそらぷちキッズキャンプへの移動について

そらぷちキッズキャンプは北海道にあり、ほとんどの参加者が飛行機に搭乗し移動するため、航空会社各社にサポートいただいています。事前の綿密な情報交換により、参加者の状態にあわせた、空港での誘導、休憩場所の確保、飛行機の乗り降りなど、快適に飛行機や空港を利用することができるよう、様々なサポートをいただいています。



事前説明会・家庭訪問

キャンプの募集を開始してから参加に至る間の情報交換を大切にしています。子どもだけが参加するキッズキャンプでは必ず事前説明会を開催、家族単位で参加するキャンプでも、状況によって個別の家庭訪問を実施しています。情報交換はキャンプ場に常駐する看護師が行います。



キャンププログラム

子どもたちや家族の状態・ニーズにあわせて、様々なアクティビティを準備しています。北海道の大自然を活かした、自然とふれあう、仲間と楽しむ、自分にチャレンジする、様々なプログラムを提供します。専門資格をもつスタッフが準備・実施する乗馬・馬車搭乗、森あそび（ツリーハウス）などのプログラムがあります。

ボランティア

キャンプには、事前に研修を受けたボランティアが参加しています。大学生や主婦、キャンプの専門家、栄養士、医師や看護師など様々な人たちが、子どもたちの「力になりたい」と集まっています。ボランティアとの交流もキャンプの魅力の1つです。キャンパーからボランティアになった若者もいます。



食事

北海道の旬の食材を使った、子どもたちが選べる食事、子どもたちと一緒に作る食事など、「食事」はキャンプの楽しみのひとつになっています。専門のスタッフが常駐し、食物アレルギーや食事制限、ニーズに合う食事形態（きざみ、ペースト）などにも対応した食事メニューを提供することができます。



医療支援

キャンプ中は、専門の医師、看護師が常駐し、キャンプでも日常の医療ケアが継続できるようにサポートします。「ほけんしつ」と呼んでいる専用の建物もあり、集団から離れた休息や、特別な処置が必要になった場合にも使います。また滝川市立病院、砂川市立病院と連携し、緊急時対応ができる体制を整えています。



施設・設備

キャンプ場内の施設・設備は、訪れる子どもたちのことを考え、バリアフリー・ユニバーサルデザインの視点で、設計・整備されています。今後も、子どもたちの意見を聞いて改善し、使いやすい施設にしていきたいと考えています。森の中には、車いすのままで行けるツリーハウス（木の上の家）もあります。



キャンプサイト・施設の紹介

そらぶちキッズキャンプは、大空と豊かな自然に囲まれた北海道滝川市丸加高原にあります。丸加高原は標高286メートルの丸加山のすそ野に広がる丘陵地で、キャンプ場は約16ヘクタールの草地と森です。宿泊棟、食堂・浴室棟等の施設群があり、敷地の2/3を占める森には、ツリーハウスや散策路など自然を満喫できるよう整備されています。



summer



そらぶちの丘



広場



きつつきの森

winter



ほたるの森

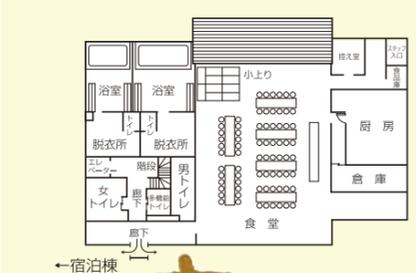


広場周辺



施設の建設にあたり、法人・個人・団体からご支援をいただきました。

2009年に「事務棟(森の案内所)」が建設され、2010年には「森のほけんしつ(医療棟)」、2012年には「食堂&浴室棟」と「宿泊棟」など主要施設群が完成しました。森エリアには市民ボランティアや民間企業などの協力によりツリーハウスや木道などが整備され、今後もバリアフリー木道や遊びの仕掛けなどをつくる予定です。



② 食堂&浴室棟 (森のレストラン) 650㎡

食堂ホール、厨房、大浴場
 【食堂】100人が集える食堂ホールです。食事時間以外は、室内遊び場としても利用します。
 【大浴場】森と空をテーマにした2つの浴場があります。キャンプの仲間と一緒に入ることができます。



協力：民間寄付金等

③ 森のほけんしつ 180㎡

診察・処置スペース 静養室 (ベッドルーム)
 医療者が常駐し、キャンプ中は医療ケアや服薬の際に使います。体調が悪くなった時、診察・静養することもできます。



協力：故・横山清七初代会長親族、北門信用金庫、日本チェーンドラッグストア協会、滝川市医師会 ほか

① 宿泊棟 (森のコテージ) 240㎡ × 2棟

36人が泊まれるコテージです。寝室には木の2段ベッドがあり、1段目は車いすユーザーが使いやすい高さに設定されています。中央にある和室(畳の小上がり)で寝転んだり、リビングでゲームをしながら遊ぶことができます。



協力：公益財団法人日本財団 (宿泊棟1)、一般財団法人日本メイスン財団 (宿泊棟2)

④ ツリーハウス 木のうえの家

10人程度収容可能

クリエイターの小林崇さんと協働で製作した、4本の大きな木に支えられたツリーハウスです。車いすのままでも利用でき、森とひとつになった感覚になります。



協力：一般財団法人東京マラソン財団、公益財団法人太陽財団 ほか

2018年度は、計9回のキャンプ(夏季7回、冬季2回)を実施し、難病とたたかう子どもと家族に対し、かけがえない時間を提供することができました。安全で快適なキャンプを実施できるよう専用施設の運営・維持管理を行いました。

■ 難病の子どもと家族が参加するキャンプの実施

全国各地から以下のキャンプに合計 266 名が参加。

4/28～29 グループキャンプ 1泊2日

医療法人稲生会（札幌）の利用者と家族 5家族 18名

6/15～18 レスパイトキャンプ 3泊4日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族 3家族 12名
 (居住地域：神奈川1、埼玉1、東京1家族
 横須賀市立うままち病院、国立がん研究センター中央病院から
 各1名の主治医同行)

7/27～7/30 キッズキャンプI 3泊4日

小児がんとたたかう子ども（寛解期）12名
 (居住地域：岡山1、奈良2、滋賀2、京都2、大阪2、山形1、
 北海道2名)

8/7～10 キッズキャンプII 3泊4日

心臓疾患を持つ子ども5名
 試行実施のため、17名の家族も同行
 (居住地域：全員茨城 筑波大学附属病院心臓血管外科と
 共同開催)

8/18・8/19 グループキャンプ 日帰り(2日間)

滝川市こども発達支援センター利用の子どもと家族
 26家族 89名(居住地域：滝川市内及び近隣市町村)

9/22～25 レスパイトキャンプ 3泊4日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族 3家族 16名
 (居住地域：栃木3家族 栃木のレスパイト施設うりずんの協
 力により実施、同行スタッフ4名)

10/19～22 レスパイトキャンプ 3泊4日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族 2家族 8名
 (居住地域：東京2家族 聖路加国際病院2名、国立国際医療
 研究センター1名の医療者同行)

2/9・2/10 グループキャンプ 日帰り(2日間)

滝川市こども発達支援センターを利用の子どもと家族
 20家族 70名(居住地域：滝川市内及び近隣市町村)

2/15～18 ファミリーキャンプ 3泊4日

小児がんとたたかう子どもと家族 5家族 19名
 (居住地域：広島2、愛知1、東京1、埼玉1家族)

■ ボランティア募集育成・活動調整

「ボランティア研修キャンプ(1泊2日)の実施」

- ・11/3～4 研修参加者 36名
- ・3/23～24 研修参加者 29名

「各種ボランティアの活動調整」

- ・キャンプボランティア
- ・屋外維持管理ボランティア
- ・広報PRボランティア
- ・イベントボランティア
- ・人形製作ボランティア
- 他



ボランティア研修キャンプ

■ 広報(普及啓発)事業

- ・キャンプ場でのイベント開催
 10/8 そらぷちフェスティバル
 (キャンプ場一般開放・感謝状贈呈式 他)
- ・各種イベントでのPRブース設置
 6/2～3 コールマンイベント
 8/26 北海道マラソン
 2/28～3/3 東京マラソン(沿道応援、交流カフェ運営)
 3/14～17 日本チェーンドラッグストアショー 他
- ・写真展の開催(8月札幌、9月夕留、12月国分寺)



コールマンイベント そらぷちフェスティバル

- ・遊び広場イベントの開催(1月札幌)



遊び広場イベント

■ 調査研究(学会参加他)

- ・4/14～16 日本小児科学会(東京・品川)
- ・9/28～29 日本小児呼吸器学会(札幌)
- ・11/14～16 日本小児血液・がん学会(京都)

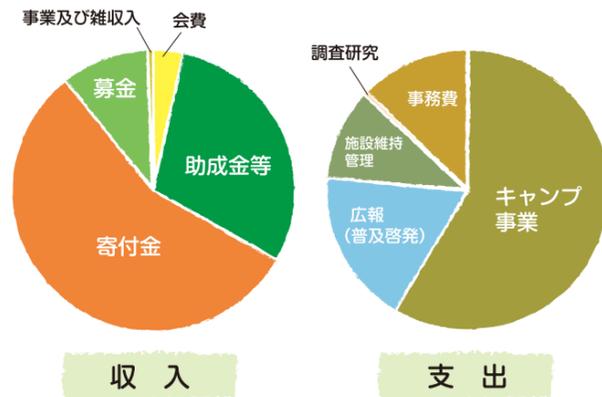
撮影：小西貴士(ゴリ)
 高橋吉之(よっち)
 村井友樹(むっくん)



会計報告

【収入】	収入合計	161,354,545 円
	会費 (そらぶち会員数 265 人)	5,574,000 円
	助成金等	48,174,554 円
	寄付金 (一般寄付者数 2621 人)	90,529,981 円
	募金	16,105,848 円
	事業及び雑収入	970,162 円
【支出】	支出合計	149,040,152 円
	キャンプ事業	87,406,253 円
	広報 (普及啓発)	26,594,786 円
	施設維持管理	15,639,990 円
	調査研究	673,953 円
	事務費	18,725,170 円

【収支内訳】



寄付支援いただいた企業・団体

- 👑 SeriousFun Children's Network (シリアスファン)
- 👑 日本チェーンドラッグストア協会
- 👑 一般財団法人 東京マラソン財団
- 👑 The Boeing Company (ボーイング)
- 👑 大原小児がん基金
- 👑 一般財団法人 北門信用金庫まちづくり基金
- 👑 Abercrombie & Fitch (アバクロ)
- 👑 サツドラホールディングス 株式会社
- 👑 株式会社 日本財託
- 👑 Shire (シャイアー) ※武田薬品グループ
- 👑 株式会社 クスリのマルエ
- 👑 国際ソロプチミスト滝川 👑 1000万~ (円)
- 👑 公益財団法人 日本財団 👑 500万~
- 👑 北門信用金庫 👑 300万~
- 👑 コールマンジャパン 株式会社 ★ 👑 100万~ ★賛助会員
- 👑 ビップ 株式会社
- 👑 株式会社 イマジンプラス
- 👑 一般社団法人 TUコモンズ夢のアトリエ
- 👑 ユニバーサル・ビジネス・ソリューションズ 株式会社
- 👑 丸山健法律事務所
- 👑 Newman's Own (ニューマンズオウン)
- 株式会社 堅城
- 株式会社 ダッドウェイ
- 認定 NPO 法人 ランナーズサポート北海道 (北海道マラソンチャリティ)
- 北海道コカ・コーラボトリング 株式会社
- DCM ホーマック 株式会社 ★
- 株式会社 桑山 ★
- 小林製薬 株式会社 ★
- 株式会社 シンモク ★
- 有限会社 酒倶楽部かねよし
- MDRT 三井住友海上あいおい会
- 王子ネピア 株式会社
- 滝川ロータリークラブ
- 一般社団法人 MDRT 日本会
- 株式会社 マツオ
- 公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
- クラシエ・グループ
- 小樽友の会

- アサヒビール 株式会社
 - 空知単板工業 株式会社 (チャリティ 100km ウォーク)
 - 学校法人 香蘭女学校
 - サントリービバレッジサービス 株式会社
 - 一心寺 (大阪府) ★
 - 小野薬品工業 株式会社 ★
 - 西武造園 株式会社 ★
 - 有限会社 新田総業 ★
 - 株式会社 フジテレビジョン ★
 - 株式会社 フジファンリティー ★
 - NPO 法人 北海道ファミリーハウス ★
 - 学校法人 立教学院 立教小学校
 - 東京エレクトロン 株式会社
 - シャイアー・ジャパン 株式会社 ※武田薬品グループ
 - 株式会社 北星
 - 江部乙商工会 (そらぶちファーマーズ協働・農産品チャリティ)
 - 株式会社 CtoC グループ
 - 山崎製パン 株式会社 札幌工場
 - しのめ信用金庫
 - 株式会社 AIRDO
 - SCSK 株式会社
 - お茶の水女子大学 インターン有志一同
 - 医療法人 圭仁会 佐藤病院
 - 有限会社 サポート
 - 認定 NPO 法人 朴の会
 - ロート製薬 株式会社 (サツドラ共同チャリティキャンペーン)
 - ユニ・チャーム 株式会社 (サツドラ共同チャリティキャンペーン)
 - 有限会社 永友商事
 - ヒーリング&ビューティ肌美粧
 - 株式会社 メディプロデュース
 - 医療法人社団 山中たつる小児科
 - 網走友の会
 - 株式会社 ワッス (株式会社ビクトリア観光とのチャリティ)
 - 一般財団法人 滝川市医師会
 - 滝川三師会
 - KAYAGINI まつり実行委員会 (北海道滝川市江部乙町)
 - 有限会社 花月堂松尾製菓
 - 寧楽共働学舎
 - 北見友の会
 - 國學院大学北海道短期大学部同窓会
 - UA センセン北海道支部
 - drum STRONG JAPAN
 - 妹背牛ロータリークラブ
 - グッディポイント 株式会社
 - むつみ造園土木 株式会社
 - マルコ・ソルディ・ラップレゼンタンツェ合同会社
- (敬称略)
このほか、多くの企業・団体にご支援をいただきました。



シリアスファンは、ハリウッド俳優、故・ポールニューマン氏が米国に創設した、難病の子どもと家族のための医療ケア付キャンプの世界的なネットワークであり、そらぶちは、アジア (中東を除く) 初の公認キャンプ場となります。シリアスファンでは、定期的な現地審査と書類審査により、世界基準の安全性とサービスの質の認定を行っており、そらぶちは、2016年11月より正会員として加盟しています。



キャンパーたちと故・ポールニューマン氏 (中央)



シリアスファン加盟により、新しいロゴになりました

「シリアスファン公認キャンプ場・所在地 (16カ所)」

米国フロリダ、米国ニューヨーク、米国オハイオ、米国コネチカット、米国ワシントン、米国ミシガン、米国カリフォルニア、米国コロラド、米国ノースカロライナ

アイルランド、ハンガリー、イタリア、イスラエル、フランス、イギリス、日本 (そらぶち)



シリアスファンチルドレンズネットワーク

🏕️ フルメンバー、プロビジョナルメンバー (専用建物を持つキャンプ) 🌍 グローバル・パートナーシッププログラム (建物を持たずプログラムを行うキャンプ)

シリアスファンとして、アメリカ (米国)、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界中で、16カ所の公認キャンプ場の運営と多数のキャンププログラムの提供を行っており、これまで50以上の国々から70万人を超える、難病の子どもと家族を無料でキャンプに招待しています。

ご支援のお願い

難病とたたかう子どもと家族のための医療ケア付自然体験施設「そらぷちキッズキャンプ」の活動は、多くの皆様からの資金的支援（会費、寄付、物品）と人的支援（ボランティア）によって、支えられています。ご支援をよろしくお願いいたします。

方法

1

寄付金をご提供いただく方法

いつでもいくらからでも受け付けております。お振込み口座は以下です。

金融機関名	店番	口座名	種目	口座記号・番号
ゆうちょ銀行	279	公益財団法人そらぷちキッズキャンプ	当座	02770-6-045696

※他銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合は、()内の2項目が必要となります。(店名:二七九(ニナナキユウ) 口座番号:0045696)
※その他口座については、下記までお問い合わせください。

クレジットカード決済によるご入金もできます。

HPより1口1,000円からご入金いただけます。決済システムは、日本財団との協働プロジェクト事業として特定非営利活動法人CANPANセンターが提供している、CANPAN決済サービスを利用してクレジットカードを使ったオンラインでの入金ができます。

<http://kessai.canpan.info/org/solaputi/>

方法

2

会員として継続的にご支援いただく方法

継続的にご支援をいただける方は、年会費によるご支援をお願いします。会員登録された方には、活動をお知らせするニュースレター等を郵送いたします。

応援会員（個人・団体）	一般 1口2千円	特別 1口1万円
賛助会員（企業・法人）	一般 1口20万円	特別 1口50万円

※会員期間は、入会日から入会年度の3/31まで。お振込みは上記口座。
※上記クレジットカード決済による入金もできます。自動継続も可能です。

方法

3

物品をご寄贈いただく方法

キャンプに必要となる物品を「ウィッシュリスト」として整理・随時更新しています。詳しくは、下記キャンプ場までお問い合わせください。

方法

4

ボランティア登録をしてご支援いただく方法

ホームページからボランティア登録をいただくと、下記種類のボランティア活動について適時お声掛けいたします。まずはご登録をお願いします。

- キャンプのためのボランティア（18歳以上。事前研修必須。）
- イベントや学会等でのPRブース運営のボランティア
- そらぷちの森の維持管理のためのボランティア
- 子どもにプレゼントする人形の製作ボランティア
- キャンプ場の掃除や布団などセットするボランティア
- 資料発送などの事務ボランティア 等

ほか

その他の方法として

店頭募金箱設置や広報PR支援（講演依頼他）など、いろいろな方法があります。詳しくは、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ



〒079-0461

北海道滝川市江部乙町丸加高原 4264-1

TEL:0125-75-3200 FAX:0125-75-3211

HP: <http://www.solaputi.jp> e-mail: info@solaputi.jp